

平成二十六年 未さん申さん達の田作り

～ 第八期 大椎っ子田んぼ 田植え編 ～

あすみっ子から遅れること5日。5月28日、大椎っ子5年生86人も田植えをしに谷津田にやってきました。

♪源(みなもと)は この地 わが丘ゆく流れ 千葉のみのりを うるおして 世界の海に つづいてる♪

これは大椎小学校校歌の歌詞の一部です。大椎っ子が初めて小山の谷津田に来る田植えの時には、まず、この歌を歌ってもらいます。「源は この地」というのはまさに大椎小の学区の小山地区をさし、小山地区の谷津からの湧き水が千葉市や市原市を流れ、田畑をうるおし、東京湾までそそいでいるということ子どもたちはいつもうたっているのですが、その意味を知っている子どもはほとんどいません。自分たちの住んでいる土地のことを身近に感じ、水源域という貴重な場であることを知っていてほしいという思いをこめて、お話させてもらいます。そのあとは、あすみっ子同様に田植え作業の心構えや田への入り方を金谷さんから指導してもらい、はだしで田植えをしました。そして自然観察では、網代さんからお話をしながらいろいろな生き物を探しました。大椎っ子がどんな体験、発見をしたのか、お読みください。

☆今日、田植えに行きました。田んぼには素足で入りました。入ったかんしょくは、つめたく、又メ又メしていました。そこでイネを植えました。田んぼの中がおもしろくて、つい、「ぼくはふかみにはまらな〜い」と言った直後、ふかみにはまってしまいました。「ゆだんたいてき」ということばを、思い知りました。(W.S)

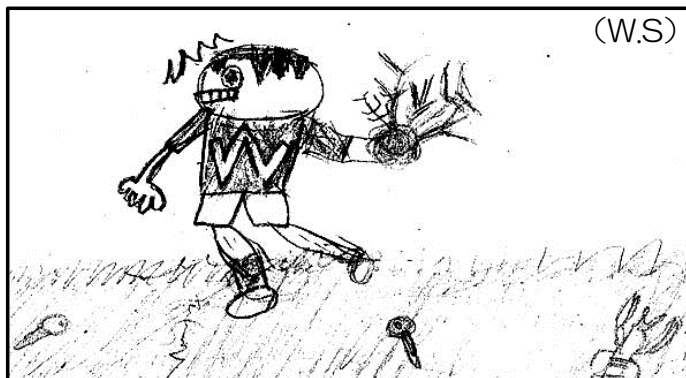
☆私は、自然観察をさきにしました。自然観察をする田んぼに行ってオタマジャクシをたくさんとりました。クモもいてびっくりしました。たくさんのおタマジャクとカエルとクモが田んぼにいました。自然観察のあとに田植えをしました。はだしになって田んぼに入ったら、ねちょねちょとしていて、気持ち悪かったです。田植えをした田んぼにはザリガニがたくさんいました。イネを植えるのはかんたんだったけど、田んぼの中を一步一步歩くのが大変でした。田植えを終えたあと、水路で足を洗いました。ふともものあたりまで水がきて、冷たくて気持ちよかったです。(A.I)



(A.N)

をしていると、危険な黄色い毛虫(タテカレハ)やたくさんのヤゴを見つけました。それから、山の下からでてきている水にもさわりました。とても冷たかったです。(M.K)

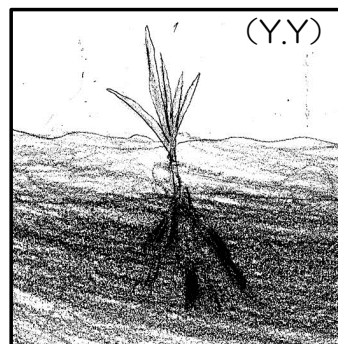
☆田んぼにはタニシ、カエル、オタマジャクシ、サワガニ、ホトケドジョウなどがあることがわかりました。谷津田を困らせているのは、ポピーの仲間のナガミヒナゲシやザリガニなどの外来種がせりよくを広げていることだそうです。谷津田の



(W.S)

☆私が一番印象に残ったのが田植えです。始めは苗がたおれたりしました。でも、最後の方になるとなれてきて、たおれることもなく、苗を植えることができました。自然観察ではたくさんのおタマジャクシを見つけました。ほかにもトンボやカエルなどを見つけました。いろんな経験ができて、楽しかったです。次回もよろしくおねがいします。(A.N)

☆田植えをしていると田んぼの中にはアメンボやオタマジャクシなどがいて、とてもおもしろかったです。自然観察



(Y.Y)

植物の生える場所をうばったり、生き物を食べてしまったりしていることだとわかりました。田んぼには貴重な生き物がいっぱいいると教えてもらいました。(H.I)

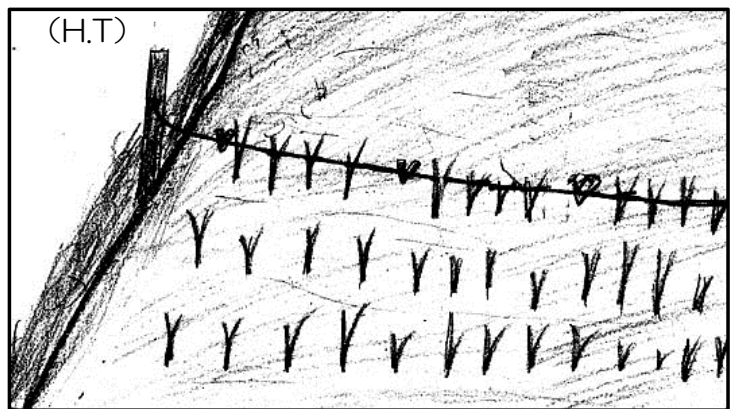
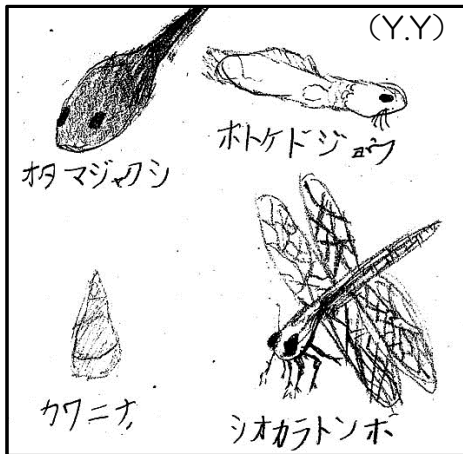
☆小山町の谷津田には、ニホンアカガエルのオタマジャクシ、ホトケドジョウ、カワニナ、シオカラトンボ、クモ、タニシなどがいた。ニホンアカガエルが絶滅危惧種に指定されている理由の1つは、ニホンアカガエルの手足にはきゅうばんがついていないので、土の水路しかのぼれないからだを教えてもらった。田植えの時には、イネの根っこは、イネの大きさとほぼ同じだということも教えてもらった。(Y.Y)

☆田植えはむずかしかったけど、楽しかったです。人さし指と中指とくすり指と親指で苗をおさえて、植えていきます。また、やりたいです。自然観察ではヒルとカエルをつかまえました。学校から田んぼに来るとちゅうで、ヘビの死体がありました。自然観察も楽しかったです。次はヤゴをつかまえたい!(Y.Y)

☆ぼくは大椎っ子田んぼに行き、生き物や苗の植え方などがよくわかりました。おもしろかったのは田植えです。最初は、田植えは田んぼの中はベチャベチャしてていやだなと思ったけど、植えていくうちにおもしろくてもっといっぱいやってみたいと思いました。田植えの大変さもよくわかり、いい勉強にもなりました。楽しかったです。(M.M)

☆田植えは思ったよりかんたんでとても楽しかったです。でも、初めて田んぼに入ったかんしょくは、ネチョッとしていて気持ち悪かったです。なえを植えるとき、土が浅い所と深い所とあったので、なえがたおれないようにそっと植えました。田んぼにはとてもたくさんのメダカやオタマジャクシなどが泳いでいました。7月に草取りに来た時になえがどうなっているかを見るのが今から楽しみです。(T.K)

☆小山町の谷津田ではいろいろな事を教えてもらいました。たとえば、いろいろな生き物は1つの命だけではなく、数十万もの微生物と共によく生きていて、メダカを飼うんだらとことん死ぬまで飼い、とちゅうで川などに放したりしてはいけないことなどを教えてもらいました。田んぼにはいろいろな生き物がいました。ザリガニ、サワガニ、メダカ、ニホンアカガエル。オニヤンマのヤゴ、ホトケドジョウがいました。田植えはちょっとむずかしかったけど、いろいろな生き物が見られてよかったです。(K.S)



☆田んぼには、危険なヘビだけでなくいいヘビもいると聞いて少しほっとしました。自然観察ではオタマジャクシをあみでつかまえたり、さわったりして楽しかったです。田植えで田んぼの中にはいったとき、ぬめぬめとして温かかったです。きょうな体験ができて、うれしかったし、いねを刈るのが今から楽しみです。(H.T)

☆自然観察では、いろいろ生き物のことを教えてもらいました。ポピーの仲間のナガミヒナゲシは、外来種で花がかわるまえに種ができあがるといってその花でいっぱいになってしまうそうです。イヌスギナはつくしと似ていますが、まわりに細いはっぱがついているところがちがいます。田んぼの中には、サワガニやタニシやザリガニがいました。カエルやタニシやオタマジャクシをつかまえました。また、山で降った雨がわき水になって流れてきていて、その水をさわったら冷たかったです。田植えでは田んぼの中に入りました。田んぼの底はグチャグチャしてました。苗がなかなか立たなくて大変でした。最後に足を洗いましたが、その小川の水が東京わんまで続いていると聞いて、すごいなあと思いました。(M.K)



里山たんけんレポート

第 173 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2014年6月1日(日) 晴れ

今日はたんぼの観察から始めました。畔に入るとオタマジャクシからカエルになったばかりのニホンアカガエルの仔ガエルがピョンピョン飛び出します。とても要保護生物とは思えない程の数です。メダカも今年生まれの仔メダカがもう群れをつくっていました。オタマジャクシはシュレーゲルアオガエル、ニホンアマガエルになりました。草が大分大きく茂りました。谷津下流部奥まで巡るのも今月までです。林縁に実ったクワの実を口に運んだり、鳥が種を運んだのか湿地に生えたグミの実を口に運んだりしながら歩きました。ゆったり飛ぶニホンカワトンボは小さな子供にも捕まえられるので子供は大喜びです。ゴマダラオトシブミ、エゴツルクビオトシブミ、ヒメクロオトシブミの揺籃がたくさん見られました。それぞれ揺籃の作りの違いを見ましたが、上手な葉の巻き方にびっくりです。ホオシロが木の枝先で天を仰ぎ精一杯囁いているのをたっぷり観察、楽しみました。生きものいっぱい、卯の花を愛でホトトギスの声を聞きながらの観察会でした。

(参加者 大人15名、大学生1名、高校生3名、こども2名； 報告：網代春男)

第 162 回 下大和田 YPP「田の草取り」(兼、第 5 回米づくり講座)

2014年6月14日(土) 晴れ

今日はたんぼの中の草取りです。梅雨の晴れ間の晴天に恵まれました。たくさんの方の参加でたんぼは瞬く間にきれいになってゆきました。コシヒカリ田の草は午前中に取り終え、午後は緑米、赤米、農林1号、黒米田とあつという間に取り終えました。こども達も田の草を取ったり、メダカやザリガニを取ったり、林のブランコで遊んだり元気いっぱい大活躍でした。田の中は今年生まれのメダカの赤ちゃんがいっぱい、シュレーゲルアオガエルのおたまじゃくし、ニホンアカガエルの仔ガエルで賑わっていました。ウグイスの囀り、時々ホトトギスの声が響き、心地良い風が吹き抜ける谷津田は暑さ知らずで大変快適でした。

(参加者 大人20名、小中学生15名 報告 網代春男、写真 桜井健)



第 109 回 小山町 YPP「たんぼの草取り」

2014年6月8日(日) くもり

激しく降り続いた雨が上がってくれて、予定どおりに YPP の作業ができました。最初に大雨で壊れた畦の補修や水路の泥上げをしてから、あと少し残ったこしひかりを植えるたんぼの草取りをしました。面積はわずかなのですが、この季節になると草がびっしりと生えており、4人がかりで昼までかかりました。一方で田植えを終えたところのあちこちからもうヘラオモダカやミノソバが顔を出していて、これからが大変。どんよりくもり空でしたが、たんぼの隣にあるヨシ原で、南国から渡ってきたオオヨシキリが「ギョギョシ、ギョギョシ」と終始大きな声でさえずって、作業を応援してくれました。草取りをした場所の田植えはその後、平日に行い、コシヒカリの田植えがすべて終わりました。

(参加者：大人4名；報告：高山邦明)

第 110 回 小山町 YPP「赤米・黒米の田植え」

2014年6月15日(日) 晴れ

夏を感じさせる日差しのもと、黒米と赤米の田植えをしました。ここしばらくの暑さで苗代の苗がグンと生長し、田植えをするにはちょっと育ち過ぎの大きさでした。張った根が絡み合っているのなるべく切らないようにそっと外して植えますが、時々、プチャッと根が切れてしまうのが大変。特に赤米は背丈が伸びていてきれいに植えるのが大変でした。黒米、赤米の田植えが終わり、残りは緑米です。

(参加者：大人4名；報告：高山邦明)

(追伸：その後、平日、休日と都合がつくメンバーが雑草と戦いながら緑米の田植えを進め、6月29日に今年の田植えを完了することができました。)



<谷津田・季節のたより>

小山町

- 6月 8日 田んぼに卵を抱えたスジブトハシリグモをたくさん見かける。田んぼで今季はじめてオオシオカラトンボの姿を見た。アシ原でオオヨシキリがしきりに鳴く(高山)。
6月14日 ホトトギスがずっと鳴いていた。林の中からフクロウの「ゴロッホッホ」がひと声(高山)。
6月15日 今季始めてノシメトンボを見る(高山)。
6月22日 小雨の中、ウグイスが“谷渡り”の美声を聞かせてくれる(高山)。
6月29日 真っ赤なショウジョウトンボが田んぼで複数飛び、メスが産卵していた(高山)。

下大和田

- 6月13日 サンコウチョウと思える声を一声聞く。シュレーゲルアオガエルが仔ガエルとなって林縁で見られるようになった(網代)。
6月16日 サンコウチョウの音が下大和田側の森から聞こえた。鳥たちはこどもが巣立って数がぐんと増えたようで賑やか。シジウカラ、ヤマガラ、コゲラ、ホオジロの幼鳥を見た(網代)。
6月30日 サンコウチョウの音が一声聞こえた。カワセミは今日も元気、大きな声を張り上げ飛び回っていた(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第163回下大和田 YPP「あぜの草取り」(兼、第6回米づくり講座)

本格的な夏を迎える季節、あぜの草を抜いて田んぼをすっきりきれいにします。

日時: 2014年7月19日(土) 9時45分~14時 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:23、8:38など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴(田んぼが深いので長めがいい)、帽子、軍手、敷物。

参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第175回 下大和田 8月の谷津田観察会とごみ拾い

人気のカブトムシ、クワガタムシ、トンボ・セミなど夏の虫が元気いっぱいです。涼しい谷津で彼らと一緒に時間を過ごしましょう。

日時: 2014年8月3日(日) 9時45分~12時 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(下大和田 YPPに同じ)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時: 2014年7月13日(日)、7月18日(金) いずれも9時45分~15時

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上) 持ち物: 飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催: ちば環境情報センター

▼第111回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

植えた稲と競争でもするかのようにグングン伸びる雑草を抜いて、稲の生育を助けてあげます。

日時: 2014年7月12日(土) 10:00~12:30、小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴(田んぼが深いので長めがいい)、帽子、軍手、敷物。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

編集後記 七十二候の一つ半夏生(はんげしょう)は例年、7月の最初になります(今年は2日)。農家では田植えを終える目安となっていて、“半夏半作”と言って田植えが半夏生を過ぎるとその年の収穫が大幅に少なくなってしまうとされているようです。小山では昨年、田植えが7月の半ばまでかかってしまいましたが、今年は何とか6月中に植え終えられてひと安心です。次は雑草との戦いです。(高山 邦明)